

安全の手引き

平成29年1月23日
在ルワンダ日本国大使館

I 序言

ルワンダでは、1994年に80万人から100万人の犠牲者を出したといわれるジェノサイド（虐殺）という痛ましい出来事がありました。一方、2000年にポール・カガメ大統領が就任して以来、情勢は比較的安定し、高い経済成長を維持しています。

その反面で、国外へ逃亡した反政府勢力が隣国のコンゴ民主共和国東部等で展開しているとの情報もあり、隣国のブルンジの政情も大変不安定です。また、貧富の格差を背景にした犯罪にも注意する必要があります。

このような事情から、在留邦人の皆様、及びルワンダへ旅行される方におかれましては、常に防犯意識を高く持ち、事件や事故に巻き込まれないように心がけてください。

II 防犯の手引き

1 基本的な心構え

(1) 治安情報の入手

防犯対策を講じるためには、日本とは大きく異なるルワンダの社会・治安の実態面と問題点を知ることが必要です。旅行や赴任の前には外務省海外安全情報などから可能な限りルワンダの基礎的な情報を集め、到着後は新聞やテレビ、インターネットなどを用いて現地の治安関係情報を入手することが大切です。常に情報のアンテナを広げてください。

(2) 日本人がどのような存在かを理解する

日本人が犯罪者の目にどのように映っているかを理解することが重要です。ルワンダにはまだ外国人が少なく、日本人はかなり目立つ存在です。特に、ルワンダでは外国人のことを総じて「ムズング」と呼びます。この言葉には「外国人」という意味と、「お金持ち」という意味があります。即ち、外国人＝お金持

ちということになり、時と場合によってはそれが悪いように取られ、犯罪の対象になりかねません。「目立たない」、「パターン化を避ける」、「用心を怠らない」ことが重要です。

(3) 防犯対策に労力・コストを惜しまない

安全性の高い家は家賃も高く、その選定に時間と労力を要します。治安の悪い土地で生活する上で、防犯対策に対する労力を惜しんではいけません。また、警備員の雇用や警備機器の設置、運用にはコストもかかります。安全確保が生活する上での基盤となりますので、自分と家族の安全は自分たち自身で守るという心構えが必要です。

(4) 身体の安全が第一

実際に危険な状況に直面した際、しかも相手が武装しているような時などに、要求を拒否することや抵抗することは極めて危険です。身体の安全を第一に心がけてください。

(5) 行政能力の違いを自覚

日本では110番や119番に電話をすれば数分でパトカーや救急車が駆けつけてくれますが、ルワンダでは日本ほど迅速な対応は期待できません。これは病院などでも同じで、救急に運び込まれても直ちに処置を施してもらえとは限りません。日本では十分に助かるような事態でもルワンダでは命取りになりかねません。

2 犯罪状況

2015年のルワンダ警察の統計によりますと、国内で15,399件の犯罪が発生しています。暴行・傷害が4,064件と一番多く、次いで麻薬関係(3,422件)、窃盗(1,395件)、住居侵入(1,349件)と続いています。また、日本と比較すると、犯罪発生率は低いものの、殺人、強姦等の凶悪犯罪の占める割合が高くなっています。

3 防犯のための具体的留意事項

(1) 住居

ア 選定

戸建住宅と集合住宅とでは安全対策面で大きな違いがあります。まず、戸建住宅の場合は、家主とも相談の上、基本的には全て自身で対策を練る必要があります。一方で、集合住宅の場合は既に警備員が配置されている、発電機などの設備も整っていることが多いため、初期投資やご自身の労力は少なくなると予想されます。いずれの場合においても以下の点を考慮することをお勧めします。

- 街灯があり、夜間でも道路や家の周辺が明るいこと。
- 表通りからそれほど離れていないこと。
- 家の周辺（特に隣家）に空き地や空き家が少ないこと。
- 家の近くに不特定多数の人が集まるような商店や停留所などが無いこと。
- 最寄りの警察署、警備会社、病院などの場所を確認しておくこと。

イ 防犯対策

防犯には明るさ（照明）と警備員の配置が有効です。照明があれば死角が減り、犯罪者も押し入りにくく、警備員も警備がしやすくなります。

また、できれば家屋内に最後の砦となるような部屋を作ってください。これは、万が一、押し込み強盗のような者が侵入してきた場合、そこに逃げ込むことで更なる侵入を防ぐためです。また、長期間留守にするような場合には、その部屋に貴重品などを保管することも可能になります。

具体的な防犯対策としては以下の点が考えられます。

- 外壁は高さや堅牢性を確保する。
- 外壁や庭に照明を設置する。
- 外壁上に鉄条網、忍び返しなどの侵入防止設備を設置する。
- 門扉にはインターホンや監視カメラを設置し、屋内から外の様子が見えるようにする。

- 立木、植栽など犯罪者が身を隠せる場所を少なくする。
- 窓に鉄格子を入れる。
- 玄関や裏口は堅牢なものとし、鍵も複数取り付け、ドアチェーンとドアスコープも取り付ける。
- 入居前には家屋内外の全ての鍵を交換し、予備鍵も含めて自身で管理する。
- 停電時に備えて発電機を設置する。
- 警備会社は定評のある会社を利用する。
- 警備員、使用人等を過信しない。
- 外出する時は、全ての鍵を確実に施錠する。
- 庭先等に、はさみやドライバーなどの工具、脚立など、犯人の侵入用具となるものを放置しない。
- 万が一の時は人命を最優先する。抵抗や犯人の深追いをしない。

(2) 外出時

日本人に限らず外国人はとにかく目立ちます。目立たない格好をしていても十分目立ちますので、常に周囲を警戒し以下の点に注意してください。

○ 置き引き

レストラン等で、荷物から目を離した隙に携帯電話等が盗まれる被害が多発しています。

レストラン・商店等では、自分の荷物から目を離さないようにしてください。短時間であってもテーブル等に放置せず、貴重品は必ず携行してください。

○ すり

バス停や市場でのすりが発生しています。

人混みでは、荷物を自分の前で抱えるようにしてください。また、話し掛けられた時や買物中は、意識が荷物から離れますので特に注意してください。

○ ひったくり

バイクを使用したひったくりや、突然茂みから犯人が近づいてきて荷物を奪い取るひったくり等が発生しています。

歩くときは、車道と反対側に荷物を持つようにしてください。また、携帯電話

を使用しながらや、大音量で音楽を聴きながら歩くことを控えてください。

○ 車上ねらい・部品ねらい

可能な限り駐車場に駐車してください。どうしても路上に駐車する必要がある場合は、閑散とした場所を避けるとともに、車両を離れる際に周囲に不審な人物がいないか確認してください。また、警備員が配置された駐車場であっても、貴重品は絶対に車内に残さないようにするとともに、全てのドア・窓の確実な施錠を行うようにしてください。

○ その他

- ・貴重品を見せびらかさないでください。特に、商店やバスなどで支払いをする際、わざわざ財布を広げて支払うことは周囲の人の好奇心を刺激します。
- ・荷物をあまり持たないでください。荷物をたくさん持つとそれだけ動きも遅くなり、とっさに動けません。
- ・夜間の外出は必要最小限にとどめてください。
- ・物売り、物乞い、知らない人が近寄ってきた際には十分警戒してください。
- ・キガリ市内では路上販売が禁止されています。売り手・買い手を問わず罰せられますので、路上での売買はやめてください。
- ・タクシーを利用する場合は、可能であれば顔見知りの運転手のタクシーを使ってください。また、ルワンダにはきちんとした住所や通りの名前がないことがほとんどです。運転手に指示する前に信頼のおける人に詳しく場所を聞き、運転手任せにしないことが肝心です。特に夜間は目印も分かりづらく、慣れないうちは自分がどこにいるのかさえ分からなくなりますので、十分注意してください。

(4) 日常生活

近隣者や使用人、警備員の素性を把握することは重要なことです。特に、自宅周辺の状況を正確に把握することが防犯に繋がり、万が一の際には助けを求めることもできます。使用人や警備員を使う場合には彼らを過信することなく、しかし邪険にもせず接することが重要です。

また、旅行や休暇などで長期間家を留守にする際には、貴重品を分散させて保管する、警備の巡回を増やす、知人など十分信頼の置ける人に家を見に来て

もらうなどの対策が重要になります。

さらには、自宅へ出入りする業者等には十分注意を払い、できる限りその行動をご自身又は使用人、警備員が監視するようにしてください。定期的に来るゴミ回収業者がゴミの回収に乗じて家財を持ち去った事件や、工事業者が現金や物を盗んだという事件があり、たとえ顔見知りであっても油断はしないでください。

（５）交通事情と事故対策

ア 交通事情

ルワンダは地形に坂道が多く、未舗装道は雨が降った後には極めて走りにくくなります。車を購入する場合には、できるだけ馬力があり、四輪駆動で車高が高いものをお勧めします。

また、十分な点検と整備ができていない車が多く、運転手の技術やモラルは必ずしも高くありません。したがって、もらい事故や心ない運転手に起因する事故の発生率が高くなっています。運転される際には以下の点に注意してください。

- 車間距離を十分に空けてください。時として、執拗にパッシングし、クラクションを鳴らしてくる場合もあります。決して感情的になったり、競い合ったりせず、ご自身の危険を避けるように行動してください。また、車線が無視した無理な追い越しや割り込みなども日常的にあります。そのような場合に備え、車間距離を十分に確保することが重要です。
- モト（オートバイのタクシー）はできるだけ使用しないでください。ルワンダでは、モトは最も手軽で安価な交通機関ですが、事故の可能性が高いのでお勧めできません。医療体制が発達していないルワンダでは、些細なけがが重症化する可能性があります。
- モトの動きに十分注意してください。モトはその身軽さから車の間をすり抜けて走ります。信号無視や逆走、後方を全く確認しない急な転回、数台での併走など危険な運転を平気で行います。また、モトのウインカーも全く信用できませんので、必ずモトの動きを目視してから自身の車の制動を行って

ください。

- 未舗装道の路肩は弱くなっていますので、路肩から十分に距離を保つ必要があります。

イ 事故に遭った場合

十分に注意していても事故に遭うことがあります。その場合には、落ち着いて以下のとおり行動してください。

- 直ちに警察へ連絡し、事故発生の通報を行う。
- 負傷者がいる場合には負傷者の救護を行う。
- 周囲を群衆に囲まれるなど、危険を感じた場合には速やかに現場を離れ、最寄りの警察署へ行って事故の報告を行い、警察官とともに現場へ戻る。

状況に応じて知人に助けを求めたり、周囲の人たちに助けを求めたりすることも必要になるかもしれません。また、万が一のためにも自動車保険には必ず加入するようにしてください。

(6) テロなどについて

国際的なテロリスト集団がルワンダで活動しているという具体的な情報はありませんが、過去には、バス停留所など人が多く集まる場所へ手りゅう弾が投げ込まれ死傷者が発生するという事件が散発的に起こっていました。また、2016年には、ルワンダ国内で複数のテロ関係容疑者が逮捕、射殺される等の事件も起こっています。

さらに、ルワンダと国境を接しているコンゴ民主共和国やブルンジなどは依然として情勢が不安定な状況にありますので、これらの隣国がルワンダに大きな影響を及ぼす可能性は排除できません。

(7) 緊急連絡先

- 警察 一般：112， 交通事故：113， 火災：111
- 救急：912

○ 大使館：025-250-0884

Ⅲ 緊急事態対処

最近でも大規模クーデターが発生し、外国人が国外待避をした国があります。また、国外待避はクーデターだけではなく治安の悪化や災害などでも必要となる可能性があります。それらは突然やってくるので、常日頃から準備を行うことが必要です。

(1) 在留届を提出してください

日本国外に3か月以上滞在する日本人は、住所又は居住を管轄する日本の大使館又は総領事館に在留届を提出することが法律で義務づけられています。在留届が提出されていないと、大使館は在留邦人の皆様がルワンダに居住していることが分からず、大災害や事件・事故の際に安否確認を行うことができなくなります。在留届はインターネットからでも提出が可能です。

(2) たびレジに登録して下さい

在留届の提出義務のない3か月未満の短期滞在の方は、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。登録者は、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、不測の事態が発生した時の緊急連絡などを受けることが可能です。

(3) 緊急時の避難場所

緊急事態が発生した際には、在留届を基に大使館から在留邦人の皆様に電話連絡などを行い、緊急避難先を連絡します。基本的には、大使館が避難先となります。

(4) 準備しておく物

緊急事態や政情不安が発生しそうな時は、物の買い占めや略奪などが起こる可能性があります。予め準備できるような物は平時から備えておき、ひとまとめにしておくことをお勧めします。

- 飲料水 ○ 食料 ○ 懐中電灯 ○ ラジオ ○ 予備電池
- 着替え ○ 現金 ○ 常備薬 ○ パスポート及びイエローカード

(5) 緊急連絡要領

在留届にメールアドレスの記載がある際には、それを基に各種治安情報や連絡事項を送付することができます。それ以外の方法は、電話連絡となります。必ず在留届をご提出いただくとともに、変更が生じた際には変更届の提出又は大使館への報告をお願いします。

なお、クーデターなどの事態が発生した際には、携帯電話などが機能しなくなる可能性がある点にもご留意ください。

(6) ルワンダ日本国大使館所在地

○ 日本大使館

キガリ市カチル (KACYIRU) 地区

35, KG7 Avenue (Boulevard de l' Umuganda) の空港に向かって右側にあるガラス張りの5階建てブルースターハウスの4, 5階にあります。テレコムハウスの斜め向かいで、近くにはウムバノホテルがあります。大使館の開館時間には敷地内に国旗を掲揚しています。

(了)